

CAD/CAM/CAST/DIRECT

C.C.C.D PROCESS

[少量製作][高機能化]に対応できる 簡易金型及び鑄造法

製品開発における提案 C.C.C.Dプロセス

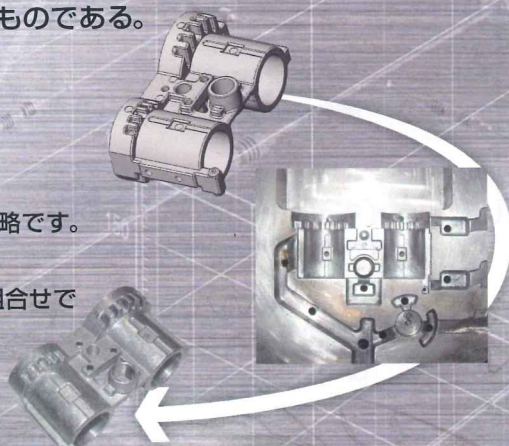
製品開発の試作段階において、量産とは違う製造方法を採用しているため、ダイキャスト量産段階においてトラブルとなるケースが増えている。これは試作時ダイキャスト品での評価がなされていないことに起因する。これは型が高価で製作納期が、かかるためである。そこで低価格、短納期、少量製作、開発試作のニーズにこたえるべく、新材料による簡易金型及び鑄造法を提案するものである。

C.C.C.Dとは？

協和合金独自の設計プロセスで

CAD/CAM/CAST/DIRECTの略です。

このプロセスは、設計から金型製作、ダイキャストまで社内での一貫通貫システムと特殊型素材、鑄造法の組合せで従来では、難しかった短納期と数十～数百といった小ロットのダイキャスト鑄造が可能になりました。



ダイキャスト製法から見る C.C.C.Dプロセスの利点



C.C.C.DはCADから直接金型へ

短納期低価格を実現

※本来、ダイキャスト製法は、CAD(バーチャル)で行う際に金型製作(リアル)を意識して作成していかないといけない